

通し 番号	事象	No	評価書分類	構造分類	劣化要因	運用 ガイド 項目 No.	ページ	質問事項	回答 終了日
1	強度低下	1	特別点検結果 報告書	コンクリート構造 物	コンクリート	3. 1 (1)	1-13	供試体の作製について、JIS A 1108(コンクリートの圧縮強度試験方法)で指定しているJIS A 1132(コンクリート強度試験用供試体の作り方)の直径を変更しても良いとする根拠を提示すること。	
2	強度低下	2	特別点検補足 説明資料	コンクリート構造 物	コンクリート	3. 1 (1)	28	強度について、各対象部位におけるコアサンプル3本の試験結果(平均値の元となる結果)を提示すること。	
3	強度低下	3	特別点検結果 報告書	コンクリート構造 物	コンクリート	3. 1 (1)	1-13	強度について、コアサンプルの試験に使用した試験機器と校正記録(国家標準までのトレーサビリティ体系図を含む)、並びに試験要領(試験方法、試験条件等)を提示すること。	
4	遮蔽能力 低下	4	特別点検結果 報告書	コンクリート構造 物	コンクリート	3. 1 (1)	1-13	供試体の作製について、JAS 5N T-601(コンクリートの乾燥単位容積質量試験方法)で指定している直径を変更しても良いとする根拠(妥当性、検証結果等)を提示すること。	
5	遮蔽能力 低下	5	特別点検結果 報告書	コンクリート構造 物	コンクリート	3. 1 (1)	1-17	乾燥状態とする供試体の質量変化の測定数値を変更しても良いとする根拠を提示すること。	
6	遮蔽能力 低下	6	特別点検補足 説明資料	コンクリート構造 物	コンクリート	3. 1 (1)	29	遮蔽能力について、各対象部位におけるコアサンプル3本の試験結果(平均値の元となる結果)を提示すること。	
7	遮蔽能力 低下	7	特別点検結果 報告書	コンクリート構造 物	コンクリート	3. 1 (1)	1-13	遮蔽能力について、コアサンプルの試験に使用した試験機器と校正記録(国家標準までのトレーサビリティ体系図を含む)、並びに試験要領(試験方法、試験条件等)を提示すること。	
8	中性化	8	特別点検補足 説明資料	コンクリート構造 物	コンクリート	3. 1 (1)	30	中性化深さについて、各対象部位における測定点3箇所の測定結果(平均値の元となる結果)を提示すること。	
9	中性化	9	特別点検結果 報告書	コンクリート構造 物	コンクリート	3. 1 (1)	1-13	中性化深さについて、測定に使用した測定器具と測定要領(測定方法、測定条件等)を提示すること。	
10	塩分浸透	10	特別点検補足 説明資料	コンクリート構造 物	コンクリート	3. 1 (1)	31	塩分浸透深さについて、各対象部位におけるコアサンプル3本の試験結果(平均値の元となる結果)を提示すること。	
11	塩分浸透	11	特別点検結果 報告書	コンクリート構造 物	コンクリート	3. 1 (1)	1-13	塩分浸透深さについて、コアサンプルの試験に使用した試験機器と校正記録(国家標準までのトレーサビリティ体系図を含む)、並びに試験要領(試験方法、試験条件等)を提示すること。	
12	アルカリ骨 材反応	12	特別点検結果 報告書	コンクリート構造 物	コンクリート	3. 1 (1)	1-13	アルカリ骨材反応について、コアサンプルの観察に使用した機器と観察要領(観察方法、観察条件等)を提示すること。	
13	アルカリ骨 材反応	13	特別点検結果 報告書	コンクリート構造 物	コンクリート	3. 1 (1)	1-13	アルカリ骨材反応について、コアサンプルの観察を実施した試験員が必要とする技能を提示すること。	
14	アルカリ骨 材反応	14	特別点検結果 報告書	コンクリート構造 物	コンクリート	3. 1 (1)	1-13	アルカリ骨材反応について、RREP-2018-1004(安全研究成果報告 運転期間延長認可制度及び高経年化対策制度に係る技術的知見の整備に関する研究)に基づくコアサンプルの促進膨張試験(アルカリ溶液浸漬法等)により、コンクリートが遅延膨張性アルカリ骨材反応に伴い将来膨張する可能性の推定を実施しなくて良いとする根拠を提示すること。	